

編集後記

歯学部ニュースの担当一員として、編集の仕事に携わってきたが、最も経験になるものは、原稿の催促であった。幸い、依頼される先生方は、熱心で積極的だったので、苦労はなかった。この場を借りて、原稿、各種データを提供していただいた各位に深く感謝いたします。

う蝕学分野 韓 臨麟

そういえば「歯学部ニュース」というのもありましたねえ。というのが、編集委員になった時の正直な反応でした。教職員のみならず学生や保護者の方が対象だとすると今後の宿題もありそうです。それはともかく、お忙しいところ快く原稿をお引き受けいただいた先生方ならびに学生の方々、孤軍奮闘の編集委員長、大変ありがとうございました。

咬合制御学分野 毛利 環

歯学部の成長、発展を優しく見守ってきた駐車場脇の桜木が移転（一部は伐採）することとなり現在そのために養生中です。新潟市で最初に開花し市民からも愛されてきた桜が無くなってしまうのは寂しい限りです。本号でその生い立ちが明らかにされ私自身も感慨ひとしおです。お忙しいなか原稿をお寄せ頂いた方々に感謝いたします。

組織再建口腔外科学分野 新垣 晋

今年はほんとうに暑い夏でした。その上、7.13水害、台風の襲来等大変な気象災害の年でもありました。やっと秋風の吹き始めた時期になり歯学部ニュースの編集も大詰めを迎えました。

本年度は口腔生命福祉学科が設置され第1期生も入学し、学生教育が始まりました。前号では開設に関して特集を組んでおりますが、本号では「動き出した口腔生命福祉学科」を特集とし教育内容を中心に、実際の教育の最前線にたっておられるなるべく多くの方々から原稿をいただきました。

また、本学のマスコットとも言うべき駐車場の桜の移転が決まり作業に入っております。これについても触れないわけにはいかないということで、「動き出した歯学部の桜」を第2の特集としました。桜の来歴がもう少し古いのではないかとの編集委員の初めの思い込みから、原稿を依頼された先生方にはちょっと戸惑われ、ご迷惑をお掛けしたと思いますが、期せずしてミニ歯学部史外伝といった特集となりました。

ご多忙中のところ快く原稿をお寄せいただきました皆様に篤く御礼申し上げます。ありがとうございました。

最後に、編集委員として共に編集にあられた中澤 太先生が北海道医療大学へご栄転になられました。ますますのご活躍をお祈りいたします。

う蝕学分野 子田 晃一